

外国船舶のロープ切断による死亡事故の再発防止に向けて

～係船装置及び係船作業の安全対策キャンペーンを実施します～

平成21年3月20日、神戸港コンテナバースで係船ロープの切断による係船作業員2名が死亡する重大な事故が発生しました。

現在も依然として係船ロープの切断事故は発生しており、作業員に被害は出ていないものの、事故防止のために継続的な安全啓発が必要です。

また、係船ロープをはじめとする係船設備についての保守に関するルールが令和6年1月から強化されたことから、再発防止に向けた安全対策の強化が図られるように今年度もキャンペーンを実施します。

1. キャンペーン期間

令和7年3月3日（月）～3月14日（金）

2. キャンペーン内容

PSC（※）において、係船ロープや係船設備の状態及び保守状況を重点的にチェックするとともに、乗組員が行うべき保守や点検において実施すべき事項等を記したリーフレットを配布し、乗組員へ注意喚起を行います。

※PSC (Port State Control)

国際的に認められた寄港国の権利に基づき、外国船舶の構造・設備・環境対策及び船員資格等について、国際条約への適合性の確認を行っています。



船舶の係船ロープ




状態の悪い係船ロープ



過去のキャンペーンの様子

配布先
神戸海運記者クラブ

問い合わせ先
神戸運輸監理部 海上安全環境部 外国船舶監督官
担当：丸吉、杉浦
電話：078-321-7061
 <small>神戸運輸監理部公式X</small>

C to Sea プロジェクト

海や船が「楽しく身近な存在」になるための取組み。

ポータルサイト「海ココ」→

